



本号の内容

- ・筑波大学司書講習開催
- ・大学院教務関係勉強会開催
- ・附属学校教育局夏期研修講座2004開催
- ・救命講習会開催 - 附属聾学校 -
- ・GDPに芸術専門学群のブース出展
- ・「からだ博」で講演
- ・交通事故等の防止について
- ・職員特殊健康診断等及び癌検診実施
- ・授業の曜日振替
- ・ループ道路に監視カメラ設置
- ・図書館講習会開催
- ・ビジネス科学研究科，ハワイ大学共催公開授業開催
- ・知的コミュニティ基盤研究センター研究談話会開催
- ・CSCセミナー・研究会開催
- ・つくばブレインサイエンスセミナー開催

2004 16

2004年16号（通巻1085号）

発行：筑波大学

編集：総務・企画部

発行日：平成16年9月15日

2004アテネパラリンピック 世界の舞台で大活躍を 出場選手・役員壮行会

9月17日に開幕するアテネパラリンピック出場選手・役員の壮行会が9月6日（月）東京都文京区の茗溪会館で行われ、出場選手11名、役員1名のうち、選手7名、役員1名の8名が出席しました。

壮行会では岩崎学長からお祝いと激励の言葉があり、続いて選手から、アテネパラリンピックにける意気込みがそれぞれ披露されました。岩崎学長の挨拶の中に「皆さんの活躍をテレビを通じて応援します。」との言葉がありましたが、教職員各位におかれましても、テレビを通じて応援してくださいませようお願いいたします。



左から飯野附属盲学校長，齋藤選手（陸上），笹井調整官，酒井選手（水泳），磯田副学長，河合選手（水泳），谷川附属学校教育局教育長，岩崎学長，工藤副学長，秋山選手（水泳），加藤選手（柔道），寺西附属盲学校教員（コーチ），福原選手（陸上），大城選手（自転車）

岩崎学長が選手を激励

筑波大学司書講習が開催される

平成16年度筑波大学司書講習が7月1日～8月31日までの2ヵ月間の日程で開催されました。この講習は、図書館に勤務する現職者等を対象に、司書になるための資格取得を目的として文部科学省の委嘱を受けて行われています。

法人化後初の開催となった今年度は、全国各地の公共図書館・大学図書館・学校図書館等から27名の講習生を迎え、連日レベルの高い講義・演習が行われました。



閉講式にて謝辞を述べる講習生代表（右）と磯谷図書館情報メディア研究科長（左）

最終日の閉講式は、磯谷順一図書館情報メディア研究科長等の出席のもとに行われ、磯谷研究科長から講習を締めくくる挨拶があったほか、講習生代表からも謝辞が述べられました。

今年は記録的な猛暑の中、2ヵ月間14科目にわたる講習を終えた講習生の表情には、大変感慨深いものがありました。

大学院教務関係勉強会が開催される

8月31日（火）13:30～17:00総合研究棟A111室において、大学院教務関係の勉強会が大学院部大学院課主催で開催されました。

この勉強会は、大学院の改組・再編に伴い、大学院関係の事務に関しても様々な対応が求められていることから、基本的な考えを再確認し、また、各支援室の対応状況を意見交換する等で、より円滑な事務対応ができることを目的として開催されました。勉強会には、各支援室から30名の出席者があり、各支援室から大学院課に質問があった事項等をまとめたQ&Aを基に説明があった後、活発な質疑応答・意見交換が行われました。

附属学校教育局夏期研修講座2004が開催される

東京キャンパス附属学校教育局では8月26日（木）にG501教室で教職員研修の一環として夏期研修講座が開催され、附属学校教職員をはじめ外部からも遠くは新潟県や愛知県などから100名余りが参加しました。

シンポジウムに先立って映画「夢 追いかけて」が上映されました。本学附属盲学校を卒業後、早稲田大学に進学し、全盲というハンデをもろともせず、ひたむきな努力によって現在は将来の夢であった教師として母校の普通中学静岡県舞阪町立舞阪中学校で教鞭をとり、過去3回のパラリンピックに出場して14個のメダルを獲得、更なるアテネに向けて夢を追いかける愛と勇気の半生を描いた河合純一氏本人主演の勇気と感動の実話を描いた映画です。

続いての公開シンポジウムでは「現代の“現代っ子”を考える」をテーマとして過去・未来よりも「今」どうなのか、現代の子どもの実相のとらえかたと教育そのものについて、谷川彰英教育長をコーディネーターとし、特別ゲストに1960年代に現代っ子論争を起こしたカバゴンこと阿部進氏、カウンセリングの視点から見た石隈



左から谷川教育長、石隈教授、阿部進氏

利紀附属学校教育局教授による「“現代っ子”への視点」と「現代の“現代っ子”の苦戦」等についてのパワフルな講演・討議が行われました。人間愛のすばらしさ、40数年で大きく変わった子どもの環境と家庭、学校、地域の在り方等について示唆に富む研修となりました。

なお、シンポジウムの内容は、教師と生徒をつなぐ月刊新聞「モルゲン」10月号に掲載されます。

救命講習会が開催される

- 附属聾学校 -

8月26日（木）、附属聾学校では、市川消防署に講師を依頼し、教職員を対象として救命講習会を開催しました。今年度及び来年度に亘り、全教職員の受講を計画しています。応急手当の基礎知識について講義を聴いた後、6～7人ずつ6グループに分



かれ、人形を使って心肺蘇生法の実技を学びました。人工呼吸や心臓マッサージを繰り返し練習しましたが、息の吹き込み量や心臓の圧迫を正しく行うのが難しく、また、緊急時に適切な行動がとれるかどうかという不安もあり、繰り返し練習することの重要性を実感しました。

GDP（グッドデザインプレゼンテーション）に芸術専門学群のブースを出展

（財）日本産業デザイン振興会が毎年開催しているグッドデザイン賞（Gマーク）の審査に伴い、その関連イベントである「GDP（グッドデザインプレゼンテーション）」が、今年も8月26日（木）～28日（土）の3日間、東京お台場の「東京ビッグサイト」で開催されました。



賑わう芸術専門学群ブース

2,400点を超えるGマーク審査応募商品や各企業のデザイン展示ブースに交じって、本学芸術専門学群デザイン専攻も他の4大学（多摩美術大学、東海大学、日本大学、武蔵野美術大学）とともに初めてブースを出展し、授業作品等を展示しました。会場は2万人の入場者でにぎわい、入学試験や産学連携などに関する問合せが多数寄せられました。

「からだ博」において紙屋克子教授が講演

8月3日（火）～8日（日）に開催された「からだ博」（主催：健康と医療フォーラム実行委員会、日本経済新聞社、NHK）開催期間中の8月5日（木）13:45から東京ビッグサイト西ホールにおいて、紙屋克子教授（人間総合科学研究科、医学専門学群看護・医療科学類長）による「介護者のからだに負担がかからない介護方法」の講演が行われました。



介護技術の実技の様子

交通事故等の防止について

- 組織・人事部人事課 -

9月21日（火）～30日（木）までの間、秋の全国交通安全運動が実施されます。交通事故及び交通法規違反の防止については、従来から注意を喚起しておりますが、この機会に改めて認識し、交通法規の遵守に努めてください。特に、飲酒又は酒気帯びによる自動車等の運転、及びこれに伴う交通事故等の場合には、厳正な処分を取らざるを得ません。万が一事故等を起こし、交通法規違反による行政処分及び刑事処分を受けるような場合には、服務監督者に遅滞なく報告願います。

職員特殊健康診断等及び癌検診の実施について

平成16年度職員特殊健康診断等及び癌検診を10頁記載の実施要項のとおり実施しますので、該当する職員（非常勤職員として発令されている者を含む。ただし、癌検診は常勤職員のみを対象とします。）は必ず受診してください。

なお、特殊健康診断及び特定業務従事者の一般健康診断対象者につきましては、過去の調査データに基づき、該当すると判断される組織の所属職員に対し、事前に記名した受診票（問診票）を配付しますが、調査漏れに対応するため、無記名の受診票（問診票）を支援室等の担当事務係等に別途配布しますので、該当者は、氏名等の必要事項を記入の上、受診願います。

また、遠隔地の組織（附属坂戸高等学校事業場、附属久里浜養護学校事業場、農林

技術センターハケ岳演習林，同井川演習林，下田臨海実験センター，菅平高原実験センター，館山研修所，石打研修所，山中共同研修所）については，各事業場の長又は当該組織の長（当該施設を管理する部局の長を含む。）が実施日時及び医療機関を決定し，所属職員に周知の上，実施してください。

授業の曜日振替について
- 学群・学生部，大学院部 -

授業日数確保のため，次のとおり振替になっておりますので，ご注意願います。

振替曜日 第2学期 9月22日(水)は，月曜日の授業を実施
10月14日(木)は，火曜日の授業を実施

ループ道路に研究目的の道路監視カメラを設置

かえで通り（プラズマ研究センター入口付近）に，道路監視カメラが設置されます。



道路監視カメラ設置イメージ

これは，平成16年度科学技術振興調整費・重点課題解決型プログラム「交通事故対策技術の研究開発」（速報つくば7月22日号参照）の中で，大田友一教授（システム情報工学研究科）のグループが推進する「動的環境センシング」プロジェクトの現地実験に使用するものです。カラーカメラと赤外線カメラを搭載した電柱を10月までに1基設置予定で，来年度には増設が計画されています。

カメラによる映像の取得は，実験中の短時間に限定し，常時撮影を行うことはありません。問い合わせは，大田教授（TEL5515）まで。

図書館講習会の開催について

図書館の本や雑誌の探し方

図書館で探している資料を見つけられないことはありませんか？

図書館では筑波大学電子図書館を運用し，様々な情報提供サービスをしています。

図書館の本や雑誌の探し方講習会では，Web版蔵書目録（OPAC）や電子Journalを中心に，次のとおり説明と検索実習を行いますので，お気軽にご参加ください。

中央図書館	コンピュータ利用室(新館2階)	9月28日(火)	17:00~18:00
体芸図書館	情報検索コーナー(2階)	28日(火)	12:15~13:15
医学図書館	レファレンスデスク(1階)	29日(水)	15:30~16:30
図書館情報学図書館	マルチメディアプラザ(情報メディアユニオン1階)	9月29日(水)	15:30~16:30

定員：各回 10名

論文の探し方

論文やレポート作成を控えた学生や教職員の皆さん，資料集めにお困りではありませんか？

図書館では，論文作成や研究に必要な文献情報を入手するためのデータベースを各種用意しています。それらの検索法や論文の入手法について，次のとおり講習会を行いますので，お気軽にご参加ください。

中央図書館 コンピュータ利用室(新館2階)*印は，集会室(本館2階)

- ・日本語論文の探し方(雑誌記事索引の検索法，その他の日本語文献データベースの紹介と文献入手法) 9月29日(水) 15:30~16:30
- ・*Web of science(全分野の文献，文献引用情報，雑誌のインパクトファクター) 9月30日(木) 13:45~15:15

データベース提供元スタッフを招いて行います。質問等のある方は，この機会に是非ご参加ください。定員に制限はありません。

体芸図書館 情報検索コーナー(2階)

- ・外国語論文の探し方 芸術学編(Art Abstracts等を用いた論文検索方法)

9月30日(木) 15:30~16:30

医学図書館 レファレンスデスク(1階)

- ・医学中央雑誌(日本で出版された、医学・看護関連分野の文献情報データベースの使い方)

9月27日(月) 15:30~16:30

- ・PubMed入門(医学分野における世界最大の文献情報データベース)

9月28日(火) 15:30~16:30

定員:各回 10名

申込先:各図書館レファレンスデスク又は図書館ホームページにて受け付けます。<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp>

ビジネス科学研究科、ハワイ大学共催「新しい日本人材マネジメント」公開授業の開催について

ビジネス科学研究科経営システム科学専攻と、ハワイ大学ビジネススクールJEMBA(Japan Focused MBA:日本専攻MBA)Programの共催による「新しい日本人材マネジメント」に関する基調講演と、両校のMBA学生間の国際ディスカッションを次により開催します。プログラムは全て英語で行われますが、興味のある方の参加をお待ちしております。

日時:9月25日(土) 14:00~

場所:東京キャンパスG501教室

連絡先:公開授業の聴講を希望される方や詳細については、担当教員(永井裕久教授 nagai@gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp)にご連絡下さい。

第22回知的コミュニティ基盤研究センター研究談話会の開催について

知的コミュニティ基盤研究センターでは、図書館情報学分野に関する研究談話会を開催しております。事前の申し込みは必要ありませんので、どなたでも自由にご参加下さい。

日時:9月30日(木) 15:00~16:00

場所:春日キャンパス情報メディアユニオン3階共同研究会議室1

テーマ:DCMIメタデータスキーマレジストリとその応用

講演者:永森光晴講師(図書館情報メディア研究科)

概要:近年、ネットワーク上の情報資源の発見と利用を目的としたメタデータの重要性が認められています。現在では、学会、博物館、図書館など様々なコミュニティがそれぞれの目的にあったメタデータの記述形式(メタデータスキーマ)を定義しています。メタデータスキーマレジストリは、メタデータスキーマの違いを越えてメタデータの流通性、相互利用性、長期利用性を高めることを目的としたシステムです。本談話会では、DCMI(Dublin Core Metadata Initiative)におけるメタデータスキーマレジストリへの取り組みを紹介します。また、メタデータスキーマレジストリの利用方法について述べたいと思います。

問合せ先:知的コミュニティ基盤研究センター(TEL8-1524)

E-mail:kc-office@slis.tsukuba.ac.jp

比較市民社会・国家・文化特別プロジェクトセミナー・研究会の開催について



比較市民社会・国家・文化特別プロジェクトでは、次のセミナー及び研究会を開催します。皆様の参加をお待ちしております。

CSC「住民自治組織と統治構造に関する比較研究」研究会

日時:9月25日(土) 14:00~17:00

場所:日本学術振興会麹町事務室(東京都千代田区麹町5-3-1ヤマトビル4F)

講演者:中村逸郎助教授(人文社会科学研究科,国際政治経済学専攻)

演題:ロシアの住民自治

CSCセミナー

日時:9月29日(水) 13:00~15:00

場所:総合研究棟A110

講演者：ベルント・パロン・フォン・マイデル教授（マックスプランク国際社会保障法研究所前所長）

演題：欧州審議会（Europarat）とヨーロッパ連合（EU）

- その組織と社会政策的影響を中心に -

概要：欧州審議会とヨーロッパ人権委員会・ヨーロッパ人権裁判所の関係，ヨーロッパ連合とヨーロッパ議会・ヨーロッパ裁判所の関係，ヨーロッパ社会憲章と加盟諸国の社会政策の関係，ヨーロッパ連合の社会政策と加盟諸国の社会政策の関係などについて，分かりやすく具体的に解説する。

使用言語：ドイツ語（日本語通訳付き）

C S C セミナー

日時：9月30日（木）15:15～17:00

場所：人文社会学系棟B721

講演者：古田博司教授（人文社会科学研究科，現代文化・公共政策専攻）

演題：東アジアの内なる論理 - 北朝鮮に市民はいるのか？

人文社会科学研究科国際政治経済学専攻，世界銀行奨学金プログラム主催講演会（後援：比較市民社会・国家・文化特別プロジェクト）

日時：10月7日（木）15:15～17:30

場所：第三学群A棟203

講演者：Joerg Fisch教授（チューリッヒ大学歴史学部）

演題：The Globalisation of European International Law in the Nineteenth Century

共催：独立行政法人日本学術振興会「人文・社会科学振興のためのプロジェクト研究事業」（多元的共生社会に向けた知の再編：多元的共生に関する国際比較）

連絡先：大友貴史（ohtomo@social.tsukuba.ac.jp）

岩田拓夫（iwata@social.tsukuba.ac.jp）

第112回つくばブレインサイエンス・セミナー（9月定例会）の開催について

日時：9月28日（火）18:00より

場所：医学専門学群棟臨床講義室（A）

講演者：平 孝臣（東京女子医科大学・脳神経センター）

演題：機能的脳神経外科の最前線

このセミナーは医科学研究科（修士課程）及び人間総合科学研究科（博士課程）との共催セミナーです。

問合せ先：基礎医学系TBSA事務局 大野忠雄（代表）（TEL3098，FAX3495）

E-mail：tbsa@md.tsukuba.ac.jp（Tsukuba Brain Sci. Assoc.）

URL：http://www.md.tsukuba.ac.jp/public/tbsa/

大田友一教授が国際パターン認識連盟(IAPR)フェローに

大田友一教授（システム情報工学研究科，知能機能システム専攻，計算科学研究センター）が，国際パターン認識連盟よりフェロー称号を授与されました。コンピュータビジョンおよび画像メディア分野での研究業績とIAPRにおける活動が評価されたものです。フェローの選考は2年に一度行われ，今年は全世界から18名が選ばれました。贈呈式は，英国ケンブリッジで開催されたパターン認識国際会議



IAPR会長のKasturi教授から賞状を受ける大田友一教授の場で，8月25日に行われました。

高橋智教授の研究課題が文部科学省「ゲノムネットワークプロジェクト」に採択される

高橋智教授（人間総合科学研究科，分子情報・生体統御専攻，生命科学動物資源センター）を研究代表者とする課題「個別生命機能における転写因子の機能ネットワークと疾患」が，文部科学省が今年度から募集した「ゲノムネットワークプロジェクト」に採択されました。

本プロジェクトは，ゲノム機能の集中的解析と個別生命現象の解析を行い，標的とした疾患等の原因遺伝子から表現型に至るまでの関係する遺伝子やタンパク質の相互作用を生体分子の統合的なシステムとして明らかにすることを目的としており，効率的なゲノム創薬及び画期的な病気の治療法の開発に貢献するものと期待されています。研究期間は3年間で，平成16年度の採択額は2,200万円です。本学からは分担研究者として，加藤光保教授（人間総合科学研究科），石井俊輔客員教授（同研究科連携大学院）が参加します。



小玉正博教授及び同教授指導下の人間総合科学研究科2年細越寛樹氏がアジア健康心理学国際会議においてベストプレゼンテーション賞を受賞

小玉正博教授（人間総合科学研究科，ヒューマン・ケア科学専攻）及び同教授指導下の人間総合科学研究科2年細越寛樹氏（ヒューマン・ケア科学専攻，発達臨床心理学）は，8月16日～18日に韓国ソウル市において開催されたthe 2nd Asian Congress of Health Psychology（アジア健康心理学国際会議）において，OUTSTANDING PRESENTATION AWARD（ベストプレゼンテーション賞）を受賞しました。この国際会議は3年に一度アジア，オセアニア諸国の健康心理学者が集う研究集会で，両氏の研究発表“Is the Concept of Defensive Pessimism Relevant to Japanese College Students?”が優れたポスター発表論文として評価され，表彰されたものです。



小玉正博教授（右）と細越寛樹氏

伊東健講師が日本生化学会奨励賞を受賞

伊東健講師（人間総合科学研究科）は，「Keap1/Nrf2制御系による酸化ストレス防御機構の解明」の研究により，平成16年度日本生化学会奨励賞を受賞しました。



この賞は，生化学の進歩に寄与する顕著な研究を発表したと認められる若手研究者に授与されます。Nrf2が異物・親電子性物質や酸素ストレスに対する生体応答を転写レベルで統一的に制御することを発見したこと，また，Nrf2抑制因子Keap1を発見して，Keap1とNrf2の相互作用が酸化ストレスのセンサーとなることを示したことが高く評価されました。10月13日からパシフィコ横浜で行われる第77回日本生化学会において受賞講演が行われる予定です。

水谷孝一教授指導下のシステム情報工学研究科3年工藤功介氏及び水谷孝一教授他2名が農業施設学会年次大会優秀賞を受賞

水谷孝一教授（システム情報工学研究科，知能機能システム専攻）指導下のシステム情報工学研究科3年工藤功介氏（知能機能システム専攻，音響システム研究室），水谷孝一教授，独立行政法人農業工学研究所奥島里美研究技術情報官及び同農業施設研究室佐瀬勲紀室長の4氏は，8月9日，10日に千葉大学園芸学部で開催された2004年度農業施設学会年次大会において，「音響反射



工藤功介氏



水谷孝一教授

を利用する温室内温度プロファイルの計測」の課題発表により「優秀賞」を受賞しました。

この賞は，同大会のポスター発表において，内容およびプレゼンテーションが優れていると評価を受けた2組に対して与えられたものです。9日の同大学での懇親会に先だてて行われた表彰式において4氏が表彰されました。

村尾修講師指導下の2003年度社会工学類卒業岩本宜式氏が日本建築学会優秀卒業論文賞を受賞

村尾修講師（システム情報工学研究科，リスク工学専攻）指導下の2003年度社会工学類卒業岩本宜式氏（現在，現東京大学大学院新領域創成科学研究科）の卒業研究「川崎市における災害時のコンビニエンスストア活用に関する研究」が，2004年日本建築学会優秀卒業論文賞を受賞しました。この賞は建築分野の優秀な卒業論文に対して与えられるもので，8月29日～31日に北海道大学で開催された日本建築学会大会（北海道）で表彰式が行われました。



村尾修講師（左）と岩本宜式氏

飯島節教授指導下の平成15年度教育研究科修了井澤和大氏が日本心臓リハビリテーション学会 Young Investigator Award 優秀賞を受賞

飯島節教授（人間総合科学研究科）指導下の平成15年度教育研究科修了井澤和大氏（カウンセリング専攻，リハビリテーションコース。現在，聖マリアンナ医科大学病院リハビリテーション部勤務）は，論文“Improvement in physiological outcomes and health-related quality of life following cardiac rehabilitation in patients with acute myocardial infarction. Circ J 68: 315-320, 2004”により，日本心臓リハビリテーション学会 Young Investigator Award 優秀賞を受賞しました。

井澤氏は理学療法士として勤務しながら東京キャンパス夜間社会人大学院を修了し，その修士論文を受賞論文にまとめ直したものです。

9月4日に北里大学相模原キャンパスにて開催された，第10回日本心臓リハビリテーション学会総会において表彰式が行われました。



市川市手工芸展に入賞・入選
- 附属聾学校 -

7月28日（水）～8月1日（日）まで市川市文化会館で行われた「第14回市川市手工芸展」で，附属聾学校高等部の生徒3名が入賞・入選を果たしました。約200点の応募作品の中から選ばれた今回の結果は，生徒たちにとって大きな自信になりました。



審査員賞
「空の都」
（ステンシル染）
高等部3年 上田佳恵さん



金賞
「夜の海」
（裂き織）
高等部専攻科1年 桑畑鮎佳さん



入選
「自然を求めて」
(マクラメ&フェルトメイキング)
高等部3年 井上知佳さん

平成16年度職員特殊健康診断等及び癌検診実施要項

区分	対象者	筑波地区（実施場所：保健管理センター）		東京地区（実施場所：東京キャンパス）		
		実施日時	申込方法及び受付期間等	実施日時	申込方法及び受付期間等	
特殊健康診断	有害業務等従事者 （別紙参照）	11月9日（火）～10日（水） 9:30 11:30, 13:30 15:30	過去の調査データに基づき、該当する と判断される組織の所属職員に対し、 事前に受診票（問診票）を配付するの で、該当者は、当日、保健管理センタ ー窓口で受付後に受診する。	11月12日（金） 9:30 11:30, 13:30 15:30	過去の調査データに基づき、該当する と判断される組織の所属職員に対し、 事前に受診票（問診票）を配付するの で、該当者は、当日、東京キャンパス 窓口で受付後に受診する。	
	特定業務従事者 （別紙参照）	11月10日（水） 9:30 11:30, 13:30 15:30	保健管理センターの通知に従って受診 する。		保健管理センターの通知に従って受診 する。	
眼底検査	保健管理センター 所長が必要と認め た者	11月13日（月）～11月12日（金） 予約日時	保健管理センターで予約し、注意書を 受取る。受付：9月6日～11月5日 （9:30 17:00）	11月12日（金） 9:30 11:30	附属学校教育局教職員課で予約し、 注意書を受取る。 受付：10月25日～29日（9:30 17:00）	
癌検診	胃X線検査	40歳以上の常勤 職員全員	11月8日（月）～12日（金） 9:30 11:30, 13:30 15:30	保健管理センターで注意書と容器等を 受取る。受付：11月1日～5日 （9:30 17:00）	11月10日（水）～12日（金） 9:30 11:30	附属学校教育局教職員課で予約し、 注意書と容器等を受取る。 受付：10月25日～29日（9:30 17:00）
	便潜血検査	40歳以上の常勤 職員全員				
診	喀痰検査	40歳以上で下記の 注4に該当する 常勤職員				

注1）対象事業場

- （筑波地区）大学本部等事業場，附属病院事業場
- （東京地区）東京キャンパス事業場，附属小学校事業場，附属中学校事業場，附属高等学校事業場，附属駒場中学校・高等学校事業場，附属盲学校事業場，附属聾学校事業場，附属大塚養護学校事業場，附属桐が丘養護学校事業場

注2）胃X線検査

胃癌の早期発見は、胃X線検査や胃カメラ検査の普及により顕著な成果を上げております。
本学では、バリウムによるX線造影検査を実施します。

注3）便潜血検査

最近は大腸癌も増加の傾向があり、早期発見には便潜血反応検査が必要です。

注4）喀痰検査

肺癌は近年著しく増加しています。早期発見のためには、胸部X線撮影だけでは十分ではありませんので、特に次の（イ）又は（ロ）に該当する方は、喀痰細胞診検査が必要です。
（イ）喫煙指数（1日の平均喫煙本数×喫煙年数）が600以上になる者
（ロ）6か月以内に血痰のあった者

別紙

受診対象者及び検査項目

特殊健康診断	対象者	<p>1 労働安全衛生法施行令（以下「令」という。）第22条に規定する次の有害業務に常時従事している者</p> <p>（1）高圧室内作業（令第6条第1号）</p> <p>（2）水中潜水業務（令第20条第9号）</p> <p>（3）放射線業務（令別表第2）</p> <p>（4）特定化学物質等製造・取扱業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一類物質，第二類物質（令別表第3第1号，第2号） ・製造等禁止有害物等（令第16条第1項） <p>（5）鉛業務（令別表第4）</p> <p>（6）四アルキル鉛等業務（令別表第5）</p> <p>（7）有機溶剤製造・取扱業務（令別表第6の2）</p> <p>（8）塩酸，硝酸，硫酸等取扱業務（令第22条第3項）</p> <p>2 粉じん障害防止規則別表第1に掲げる作業（以下「粉じん作業」という。）に常時従事している者</p> <p>3 次の業務に常時従事したことがある者</p> <ul style="list-style-type: none"> （1）特定化学物質等で，令第22条第2項に掲げる物の製造・取扱業務 （2）粉じん作業（じん肺管理区分が管理2又は管理3である者に限る。）
	検査項目	それぞれの業務ごとに法律及び厚生労働省令で定める項目
一般健康診断	対象者	<p>特定業務従事者（労働安全衛生規則第13条第1項第2号に掲げる次の業務に常時従事している者）</p> <p>（1）多量の高熱物体を取り扱う業務及び著しく暑熱な場所における業務</p> <p>（2）多量の低温物体を取り扱う業務及び著しく寒冷な場所における業務</p> <p>（3）ラジウム放射線，エックス線その他の有害放射線にさらされる業務</p> <p>（4）土石，獣毛等のじんあい又は粉末を著しく飛散する場所における業務</p> <p>（5）異常気圧下における業務</p> <p>（6）さく岩機，鋸打機等の使用によって，身体に著しい振動を与える業務</p> <p>（7）重量物の取扱い等重激な業務</p> <p>（8）ボイラー製造等強烈な騒音を発する場所における業務</p> <p>（9）坑内における業務</p> <p>（10）深夜業を含む業務</p> <p>（11）水銀，砒素，黄りん，弗化水素酸，塩酸，硝酸，硫酸，青酸，か性アルカリ，石炭酸その他これらに準ずる有害物を取り扱う業務</p> <p>（12）鉛，水銀，クロム，砒素，黄りん，弗化水素，塩素，塩酸，硝酸，亜硫酸，硫酸，一酸化炭素，二硫化炭素，青酸，ベンゼン，アニリンその他これらに準ずる有害物のガス，蒸気又は粉じんを発散する場所における業務</p> <p>（13）病原体によって汚染のおそれが著しい業務</p>
	検査項目	<p>1．胸部X線間接撮影（春季健康診断で実施した者を除く） 2．体重測定</p> <p>3．血圧測定 4．尿検査 5．視力検査 6．内科診察</p> <p>〔追加検査項目〕</p> <p>< 35歳及び40歳以上 ></p> <p>7．心電図検査 8．貧血検査 9．血液検査（肝機能，脂質，血糖その他）</p> <p>< 35歳，40歳及び45歳以上 ></p> <p>10．聴力検査</p>

「速報つくば」からのお知らせ

「速報つくば」の次回（通巻1086号）の発行は9月29日（水）、原稿締切りは9月22日（水）となります。

「速報つくば」への寄稿に際しましては、できるだけ電子メールや電子メールへの添付ファイル等で寄稿してください。

学内行事、イベント情報及び教職員サークル活動などの記事も募集しています。

なお、速報つくばへの寄稿に際しては、次の事項に留意下さるようお願い致します。

表彰関係記載項目については、受賞者氏名、所属、受賞名、簡単な賞の説明、受賞対象論文名等（掲載誌のページ等は省略願います。）とし、授賞式の日時、場所等については、必要がある場合等を除き、省略願います。

シンポジウム等の開催案内でシンポジウム等の概要を記す場合は、なるべく400字以内として下さい。

寄稿文は、簡潔に記載して下さい。

採用させて頂いた原稿は、Web上に掲載しますので、ご了承願います。また、文教速報（官庁通信社発行）、文教ニュース（文教ニュース社発行）及びSTUDENTS（筑波大学学群・学生部発行）等からの情報提供依頼があった場合は、掲載情報（写真等を含む。）を提供しますのでご承知おきください。

「速報つくば」のhtml版及びPDF版は、次のアドレスでご覧になれます。

<http://www.tsukuba.ac.jp/koho/booklets/index.html>

学内ニュース、写真の提供及び掲載内容へのご意見は広報課（TEL2065，FAX2014）へお願いします。

E-mail：sokuho@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

電子メールで寄稿された方には、「速報つくば」より原稿受付等の返信メールをお送りしますので、ご確認ください。なお、返信メールが届かない場合は、お手数でも広報課までご連絡いただきますようお願いいたします。